

令和7年度 学校経営の改革方針

1 めざす学校像

学校教育目標

「豊かな心とたくましい体をもち 主体的に判断し 進んで行動できる子どもの育成」

～「自分らしくていい学校」「大好き！な仲間」をめざして～

めざす学校の姿

- ・楽しく学び、いつも笑顔が絶えない学校
- ・人との出会い、人とのつながりを大切にする学校
- ・保護者や地域と協働し、信頼される学校
- ・誰もが愛着と誇りを持つことができる学校

めざす子どもの姿

- ・違いを認め、仲間を大切にする子ども
- ・何事にも意欲を持って粘り強く努力する子ども
- ・誰にでもやさしく接し、周りの人に感謝できる子ども
- ・人のために役立つことを喜びとできる子ども

めざす教師の姿

- ・人間味にあふれ、情熱を持って取り組む教職員
- ・子どもの声に耳を傾け、子どもから学ぼうとする教職員
- ・率直に子どもの姿を語り、子ども理解を深めようとする教職員
- ・常に工夫、努力し、組織として厳しく高め合うことができる教職員

「子どもの今と将来の幸せのために、何をすべきか。」を常に考え、
継続実践できる教師集団づくり・学校づくりをめざします。

2 現状と課題

本校は、歴史と伝統のある地域の歴史ある学校として、保護者・地域の多くの人たちに温かく支えていただいています。その反面、郊外型大型店舗の出現など、商業圏・生活圏の変遷とともに高齢化が進み児童数が減少傾向にあり、令和3年度以降、児童数・学級数とも減少が続いています（令和7年度は、児童数179人、学級数10学級（うち特別支援学級3学級））。

令和7年度は、地域社会とのかかわりをより意識し、社会が変化する中で、教育が普遍的にめざす根幹は堅持し、社会の変化を柔軟に受け止めながら、これからの社会を生き抜いていくための資質能力を育むため、継続実践できる教師集団づくり・学校づくりをめざします。

3 重点目標

- 主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり
- 豊かな心と体の育成と互いに高め合う仲間づくり
- 社会に開かれた学校づくり
- 働きがいのある職場づくり

4 具体的な行動計画

主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり

- ①「子ども主体」とした授業改善と指導力向上のための研修の推進と指導主事の活用
- ②子どもの聴く力・話す力・情報活用能力の向上
- ③学習規律の共通理解と共同実践による徹底
- ④だれ一人取り残さない児童理解
- ⑤組織的な特別支援教育の推進
- ⑥学力調査結果等の検証と改善方策の検討と実践
- ⑦一人一台端末の効果的な活用

豊かな心と体の育成と互いに高め合う仲間づくり

- ①人権を大切にし、認め合う集団づくりの推進
- ②人と関わる力を育む異年齢集団活動の充実
- ③道徳の時間の充実と豊かな体験活動の推進
- ④児童理解と児童支援の充実に向けた生徒指導体制の確立
- ⑤温かさの感じられる環境づくり（言語環境、掲示の工夫等）
- ⑥生命や性を尊重し、差別を許さない力・規範意識の醸成
- ⑦自己の健康管理と体力づくりの習慣化の推進

社会に開かれた学校づくり

- ①積極的な情報発信による保護者との児童観、教育観などの共通理解の推進
- ②情報交換の確保など保護者や地域の参画にむけた基盤づくり
- ③子どもによる地域参画の機会の充実
- ④津市架け橋プログラム及び小中一貫教育の推進
- ⑤学校運営協議会・地域学校協働本部との連携・協働
- ⑥学校支援ボランティア等地域との連携の推進

働きがいのある職場づくり

- ①職員一人ひとりのウェルビーイング及びワークライフバランスを大切にした職場づくりの推進
- ②一人当たりの時間外労働時間月30時間以上、年間360時間以上の教職員数0人
- ③一人当たり年間休暇取得日数、前年比3日増
- ④1時間以内に終了した会議8割
- ⑤毎週1回以上の定時退校日実施8割及び月1回スーパーノー残業デーの完全実施